

人的資本経営の実現に向けての取り組み

① 経営戦略と人材戦略の融合による人的資本経営の実現

【賃金引上げおよび初任給の引上げの実施について】

当行は、「人的資本経営」実現のため各種施策を展開し、行職員の「働きがいやエンゲージメントの向上」に努めており、地域金融機関としての将来に渡る「多様な人材の確保」の観点を踏まえ、昨年度に引き続き2024年度の全行職員のベースアップと初任給の引上げを実施しました。

当行の重要な財産は「人」であり、今後も人的資本を強化するための投資を継続的に行い、全行職員の働きがいややりがいを高めることで、お客さまの課題解決と地域経済の持続的成長の実現に取り組んでまいります。

	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度賃上げ率
大学卒	205,000円	220,000円	230,000円	約3.9%
短大卒	160,000円	180,000円	190,000円	
高校卒	140,000円	170,000円	180,000円	

【行内用語「対話」の充実】

当行は、「対話」を行内用語として意識付けし、各階層の役職員間において、「対話」機会の活発化に取り組んでいます。これまで以上に行内でのコミュニケーションを密に図り、組織としての違和感等を即座に共有するとともに、コーチングの実践により、「気付き」「自主性」のある組織の醸成に取り組んでいます。



【役員との対話:田中頭取】

② 働きがいのある職場環境の構築に向けて

【自然災害に対する人命最優先の対応】

史上最強クラスの台風10号(サンサン)が、2024年8月28日～30日にかけて、奄美大島、種子島・屋久島、薩摩半島の西を縦断し、県内公共交通機関、公共施設・病院等も臨時休業・運休を余儀なくされました。

当行も人命最優先(お客さま・行職員)を第一と考え、一部の県外・離島店舗を除き、ほぼ全ての店舗を29日9時から12時迄臨時休業としました。また、店外ATMは、28日15時～29日終日にかけて臨時休業としました。



【昼時間休業導入店舗の拡大について】

当行は、2025年1月14日より、店舗運営形態の見直しを行い、昼時間休業導入店舗を新たに20ヶ店追加し、合計37ヶ店に拡大しました。

昼時間休業の導入に伴い、店舗業務全体の効率を見直し、経営資源である“行職員”の最適な就業環境を整え、銀行全体として効果的な人員配置及び行職員のエンゲージメント向上に繋げるとともに窓口営業時間中のお客さま対応の質の向上に努めてまいります。

窓口営業時間	新たな昼時間休業導入店舗(20カ店)
9:00～11:30 12:30～15:00 ※11:30～12:30は、窓口休業	城南支店、上町支店、西谷山出張所、指宿支店、隼人支店、加治木支店、種子島支店、大島支店、上川内出張所、阿久根支店、宮之城支店、大口支店、串木野支店、垂水支店、志布志支店、枕崎支店、都城支店、末吉支店、八代支店、人吉支店